

**平成 24 年度
奈良県健康長寿共同事業実行委員会
有識者会議
取組方策研究事業**

〔資料編〕

○高齢者の口腔機能及び心身の健康状態等の実態把握

（歯科健診・記名アンケート、SF-8 実施概要）

平成 23 年度より高齢者の口腔機能等の実態を経年的に把握するため、高齢者向けに内容を充実した歯科健診・記名アンケートを実施。また、平成 24 年度より口腔と心身の健康状態の関係性を把握するため、新たなアンケート調査として SF-8 をあわせて実施。

- 調査対象者：地域巡回指導・普及啓発事業に参加した高齢者、奈良県内の老人クラブ会員
- 調査方法：地域巡回指導・普及啓発事業時に配付し、記入後、回収。老人クラブ会員調査（郵送）
- 調査時期：地域巡回指導・普及啓発事業（2012 年 11 月～2013 年 2 月）
老人クラブ会員調査（2012 年 1 月下旬～2 月上旬頃）
SF-8（2012 年 12 月～2013 年 2 月）
- 協力機関：奈良県歯科医師会、奈良県老人クラブ連合会

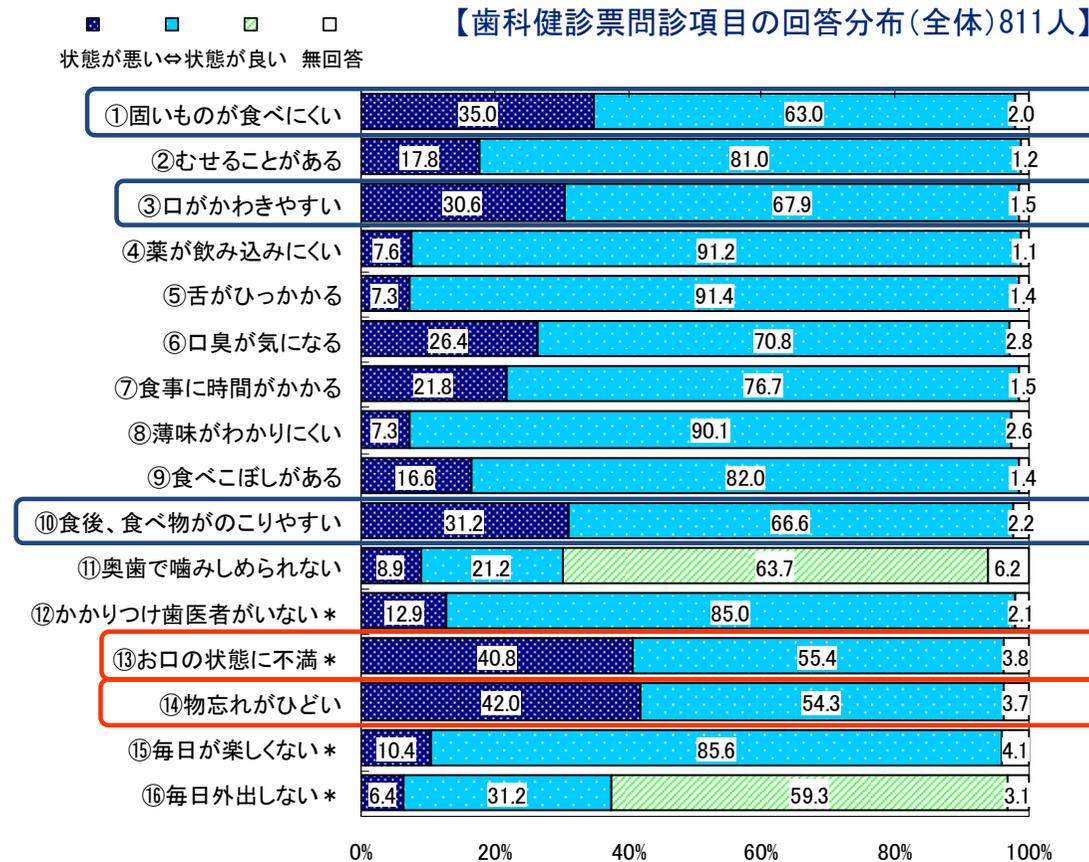
■調査の回収状況（平成 25 年 3 月 15 日時点）

調査	総数	性別			年齢					
		男性	女性	無回答	65 未満	65～74 歳	75～79 歳	80 歳以上	無回答	平均値
老人クラブ	281	207	74	0	16	126	87	50	2	74.3 歳
口腔指導	288	72	203	13	10	123	71	80	4	76.0 歳
歯科健診	242	48	188	6	24	83	57	77	1	75.0 歳
合計	811	327	465	19	50	332	215	207	7	75.0 歳
SF-8	85	19	64	2	3	38	26	18	0	75.2 歳

※SF-8 については、歯科健診等と同時に実施しているため、別計として計上。

歯科健診・記名アンケートの結果

県内高齢者の口腔機能等の実態を経年的に把握するため、高齢者向けに内容を充実した歯科健診・記名アンケートを実施した（地域巡回指導・普及啓発事業と連動）



「物忘れがひどい」
「お口の状態に不満」と
答えた人が4割強
「固いものが食べにくい」
「食後、食べ物がのこりやすい」
「口がかわきやすい」
と答えた人が3割を超えている。

※問診項目の末尾に「*」印がついている項目は、逆転項目（肯定的な質問項目）を示しており、逆転項目の回答は、他の項目の回答と同様の位置づけとなるように処理している。

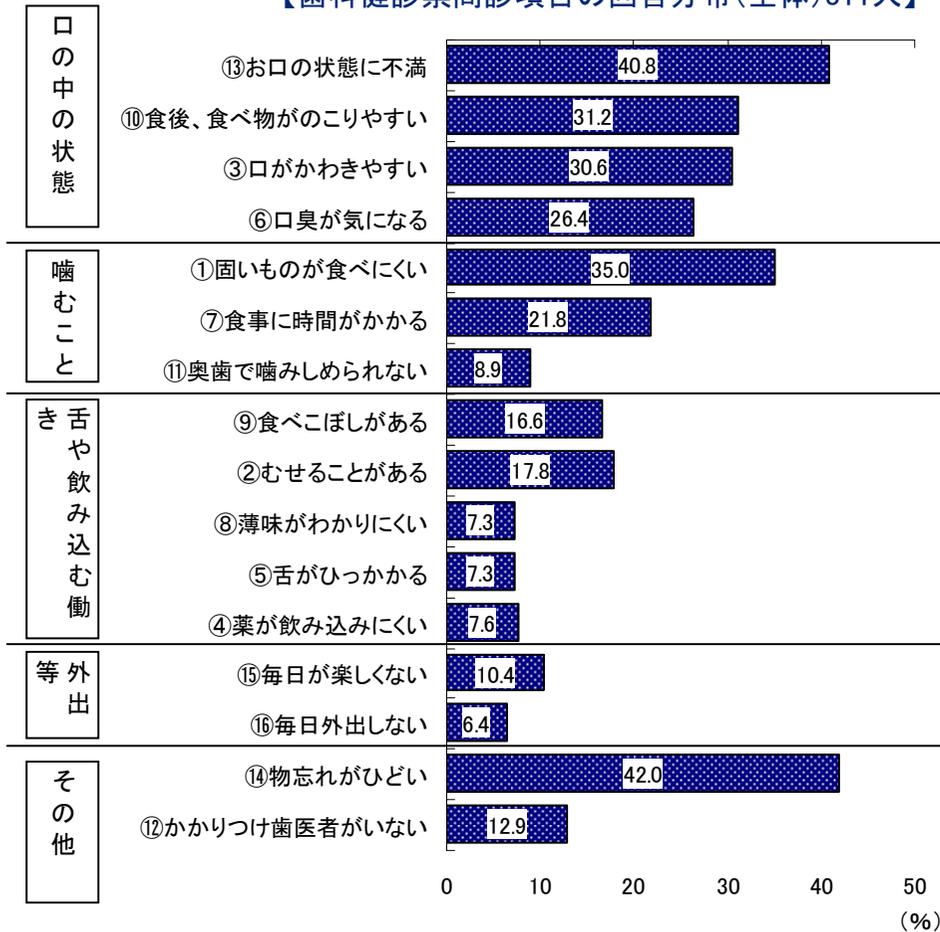
協力機関: 奈良県歯科医師会(高齢者向けの歯科健康診査票の策定)

奈良県老人クラブ連合会(追跡調査を前提とした口腔機能等に関する記名アンケートへの協力)

歯科健診・記名アンケートの結果

歯科健診問診票項目について、設問及び回答結果をもとに、類似する内容を分類整理し、傾向を把握した。（「状態が悪い」回答をもとに分類）

【歯科健診問診項目の回答分布(全体)811人】



「口の中の状態」では、

- ・ お口の状態に不満
- ・ 食後、食べ物がのこりやすい
- ・ 口がかわきやすい

の割合が高い。

「噛むこと」では、

- ・ 固いものが食べにくい
- ・ 食事に時間がかかる

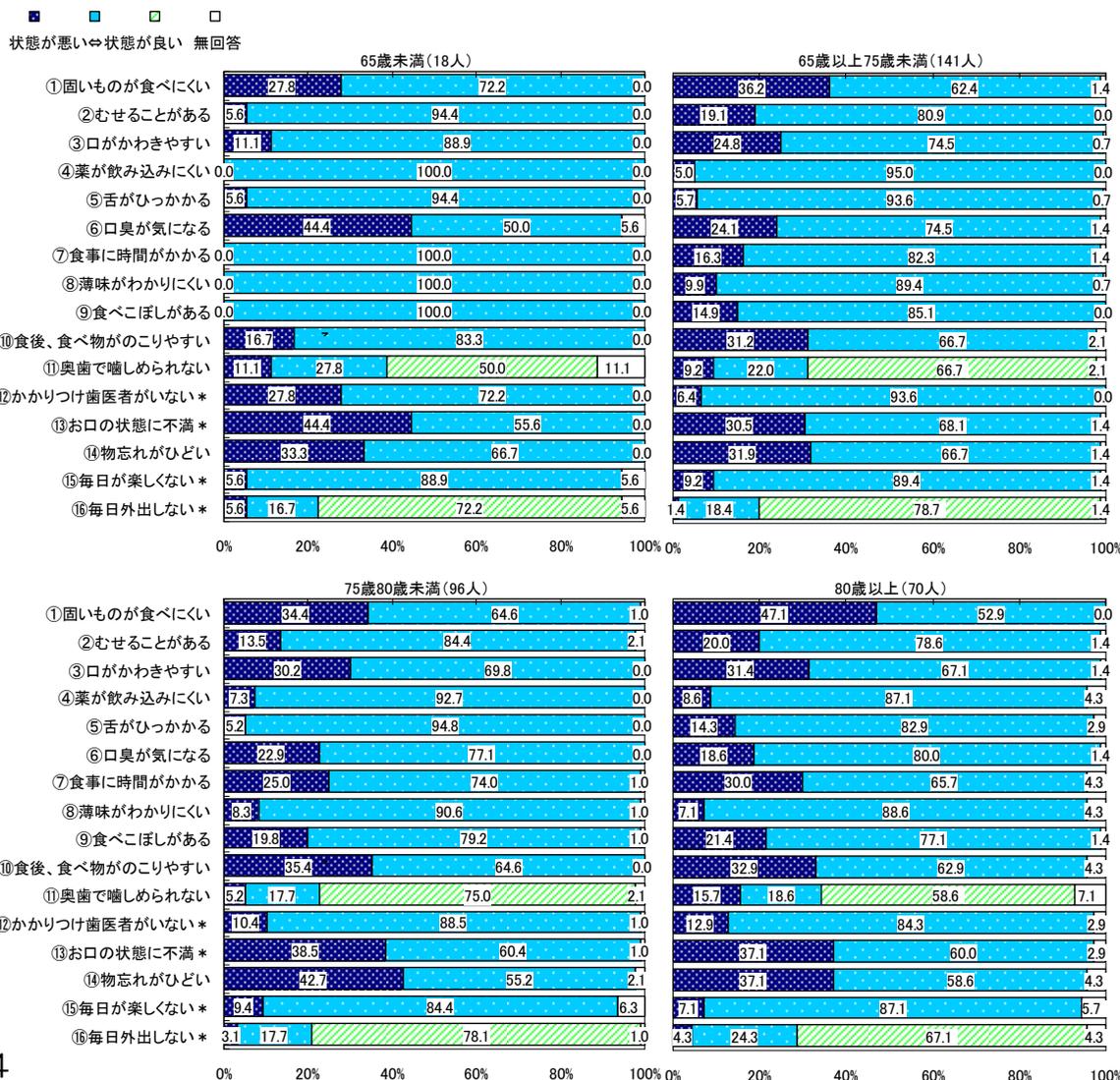
の割合が高い。

※「その他」分類については、それぞれが個別の設問となるため、便宜上その他として括っている。

歯科健診・記名アンケートの結果

● 「性・年齢階層（男性 65歳未満／65～75歳／75～80歳／80歳以上）」別の の歯科健診票問診項目の回答分布

● 歯科健診票問診項目の回答分布(性別・年齢別 男性)無回答2人



- 年齢が高いほど回答者の割合が高くなる傾向のある項目
 - ・ 固いものが食べにくい
 - ・ 口がかわきやすい
 - ・ 薬が飲み込みにくい
 - ・ 食事に時間がかかる
 - ・ 食べこぼしがある

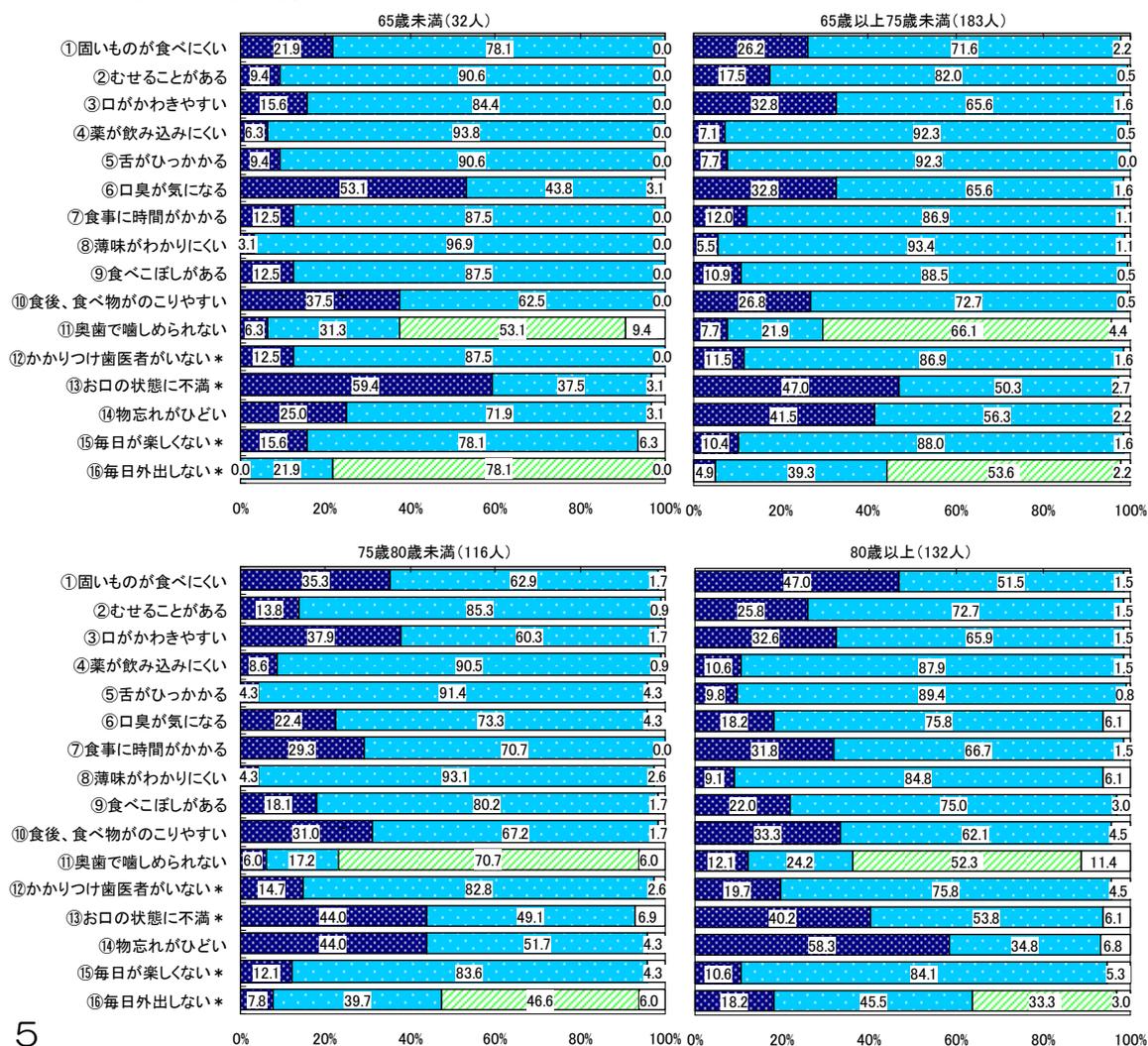
年齢が高いほど歯を喪失する人が増えるため、噛むことや飲み込むことに関する回答が多くなると考えられる。

歯科健診・記名アンケートの結果

● 「性・年齢階層（女性 65歳未満／65～75歳／75～80歳／80歳以上）」別の歯科健診票問診項目の回答分布

● 歯科健診票問診項目の回答分布(性別・年齢別 女性)無回答2人

■ 状態が悪い ⇔ 状態が良い 無回答



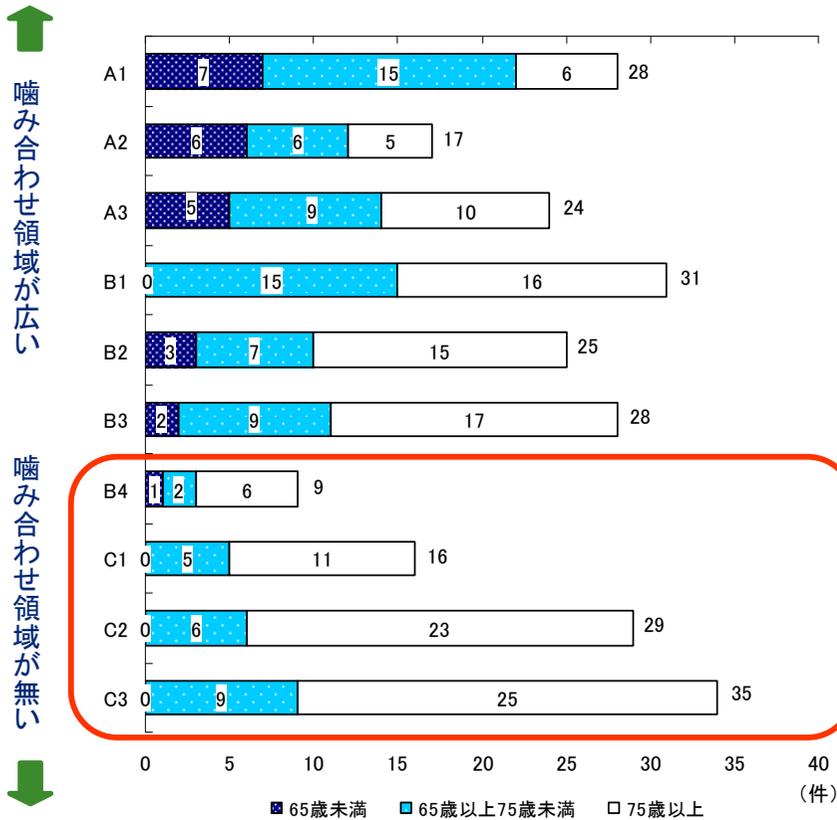
- 年齢が高いほど回答者の割合が多くなる傾向のある項目
 - ・ 固いものが食べにくい
 - ・ 薬が飲み込みにくい
 - ・ 物忘れがひどい
 - ・ 毎日外出しない

特に「物忘れがひどい」では65歳以上で、それぞれ割合が高くなる。

歯科健診・記名アンケートの結果

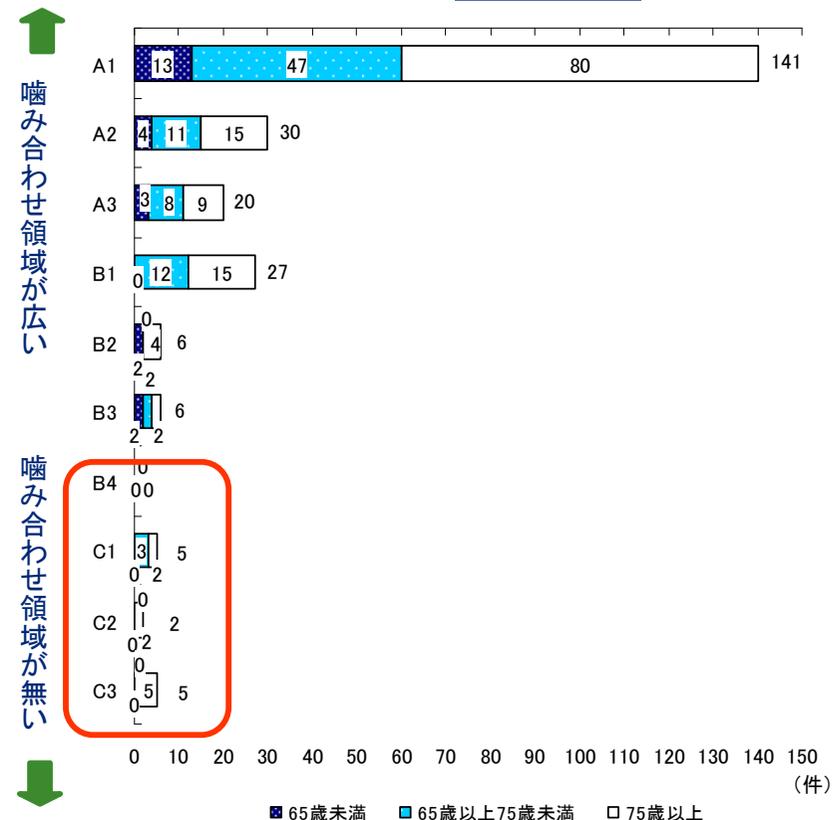
口腔機能の維持・向上を考える上で、高齢者にとって重要である「義歯」および「咬み合わせ」の状況等についても状況を把握した（今後も歯科健診を通じたデータ収集・分析の継続を想定）

【年齢別噛み合わせの状況・自歯のみ(回答者242人)】



「自歯による噛み合わせが無い」が4割近く。

【年齢別噛み合わせの状況・自歯+義歯等(回答者242人)】



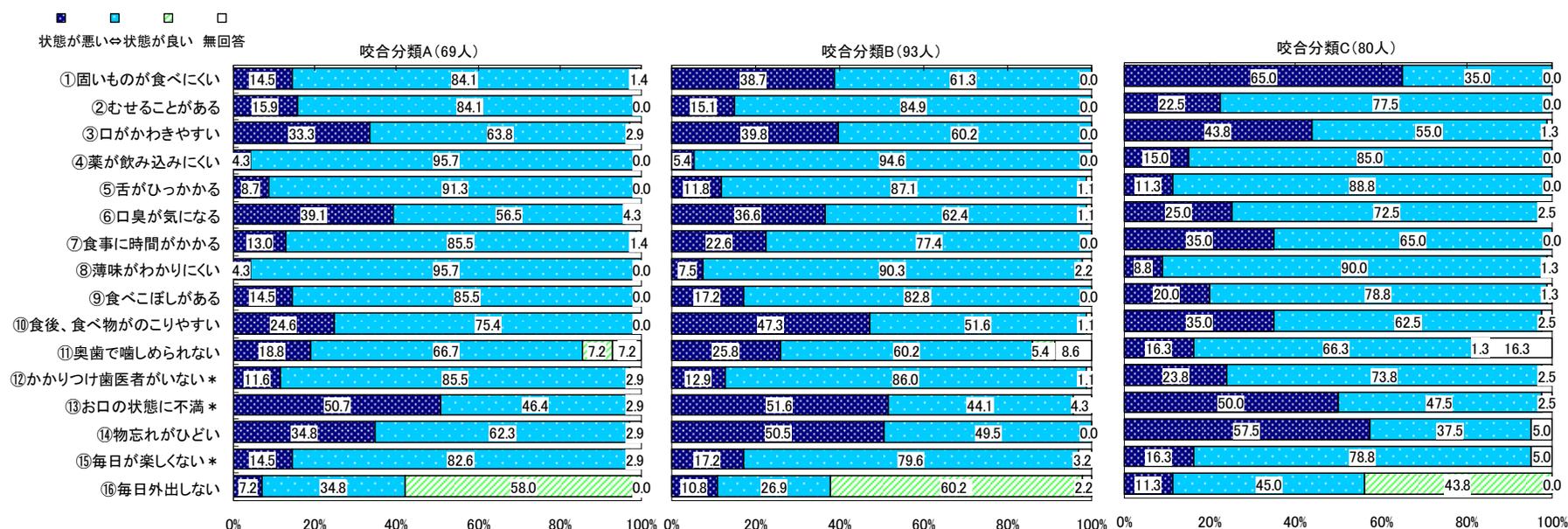
「ブリッジ及び義歯の装着」を含めると支持域がない人は、数名みられるが、A1が大幅に増えている。

歯科健診・記名アンケートの結果

●「噛み合わせ（自歯のみ）」度別の歯科健診票問診項目の回答分布

※「アイヒナーの咬合分類」により分類 A:4つの咬合支持域をすべて持つもの、B:咬合支持域が減少したもの、C:咬合支持域がないもの

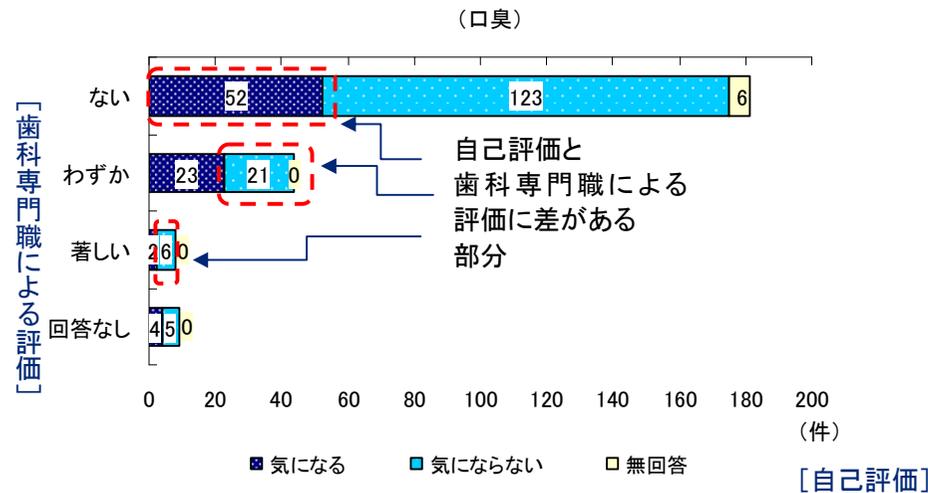
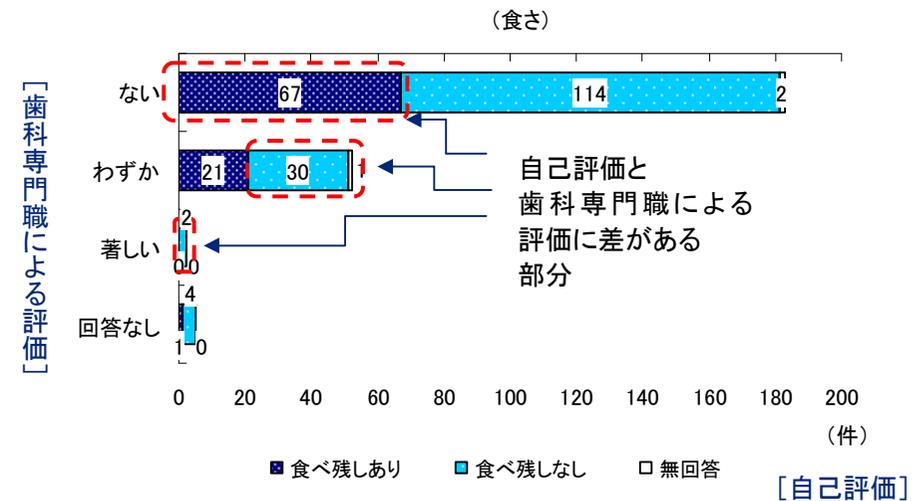
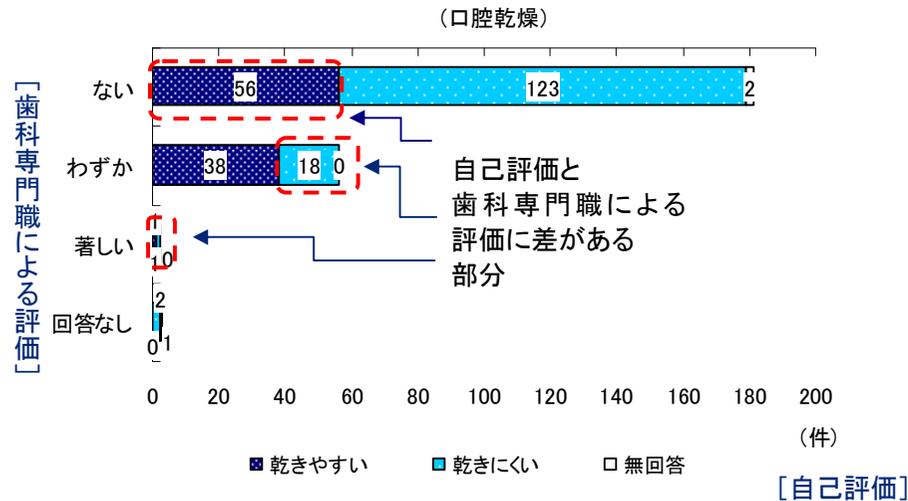
● 歯科健診票問診項目の回答分布(噛み合わせ)自歯のみ242人



● 口腔機能や食事の内容に加えて、支持域がない人のほうが「固いものが食べにくい」「物忘れがひどい」の割合が高い。

歯科健診・記名アンケートの結果

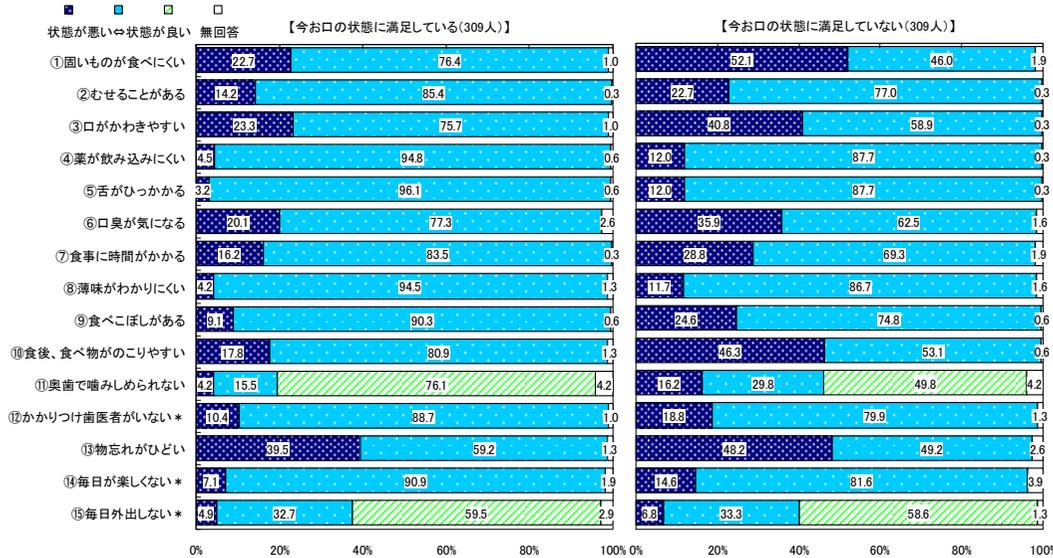
●口腔内状態に関する自己評価と専門職による評価の差（歯科健診受診者のみ）



●「口腔乾燥」「食さ」「口臭」は自己評価と歯科専門職による評価に一定程度の差がみられる。

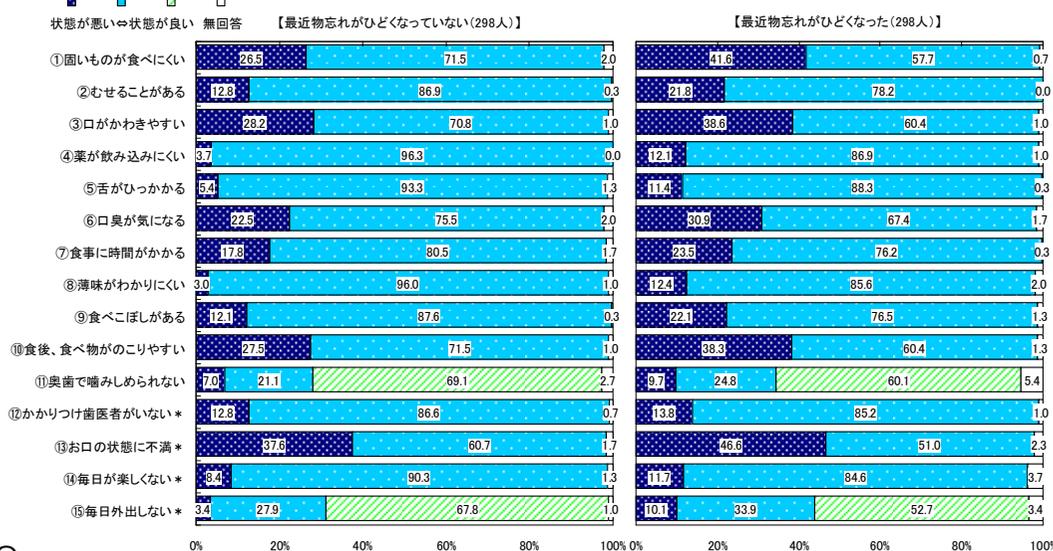
歯科健診・記名アンケートの結果

●「お口の満足度（満足している／満足していない）」別の歯科健診票問診項目の回答分布



- お口の状態に満足していない人ほど、状態が悪い。
 - ・ 固いものが食べにくい
 - ・ 口がかわきやすい
 - ・ 舌がひっかかる
 - ・ 口臭が気になる
 - ・ 食事に時間がかかる
 - ・ 食べこぼしがある
 - ・ 食後、食べ物がのこりやすい
 - ・ 奥歯で噛みしめられない
 - ・ 物忘れがひどい

●物忘れの度合い別（ひどくならない／ひどくなった）の歯科健診票問診項目の回答分布

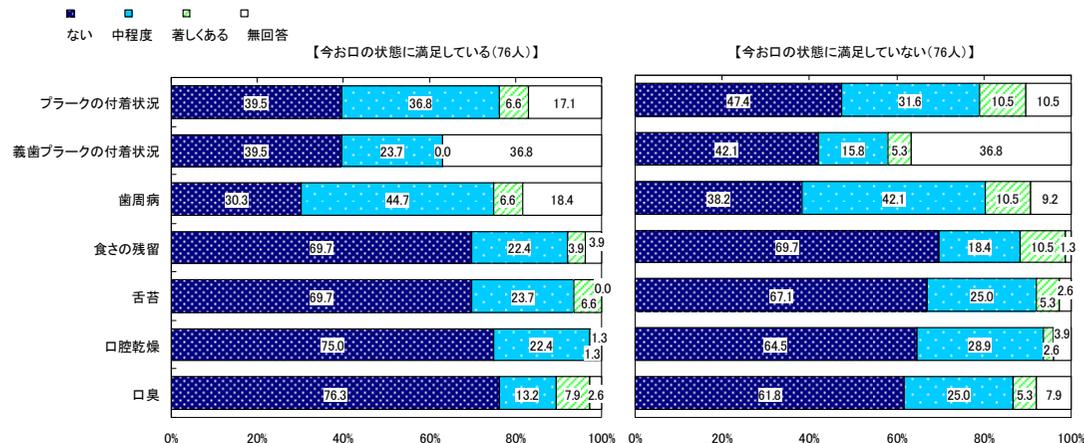


- 物忘れとの関連がみられる項目
 - ・ 固いものが食べにくい
 - ・ むせることがある
 - ・ 口がかわきやすい
 - ・ 薬が飲み込みにくい
 - ・ 薄味がわかりにくい
 - ・ 食べこぼしがある
 - ・ 食後、食べ物がのこりやすい
 - ・ お口の状態に不満

※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が「同一年齢」で構成されるように再集計しています。

歯科健診・記名アンケートの結果

●「お口の満足度（満足している／満足していない）」別の口腔衛生状態の回答分布

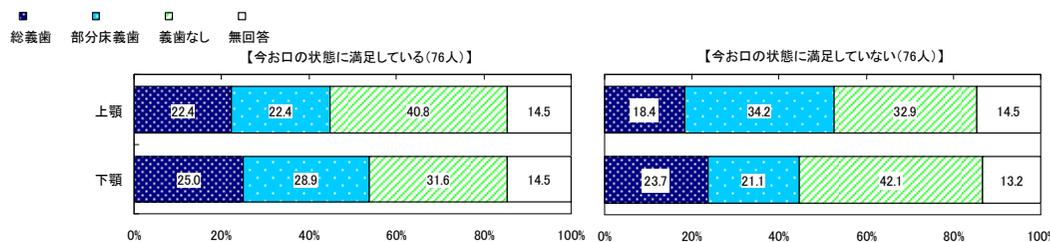


●お口の不満足度との関連

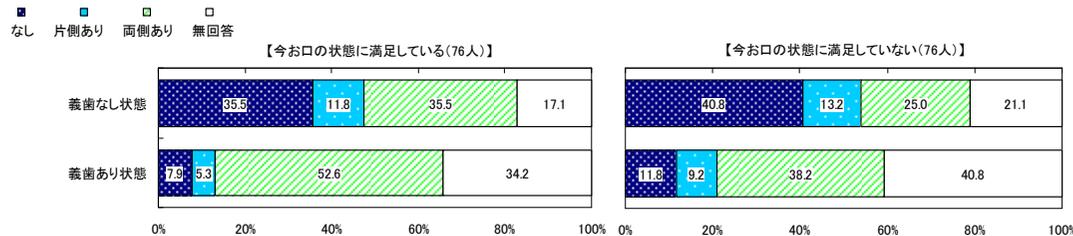
- ・ 歯周病
- ・ 食さの残留
- ・ 口腔乾燥
- ・ 口臭

●「お口の満足度（満足している／満足していない）」別の歯の状態の回答分布

●義歯の状態



●臼歯部での咬合



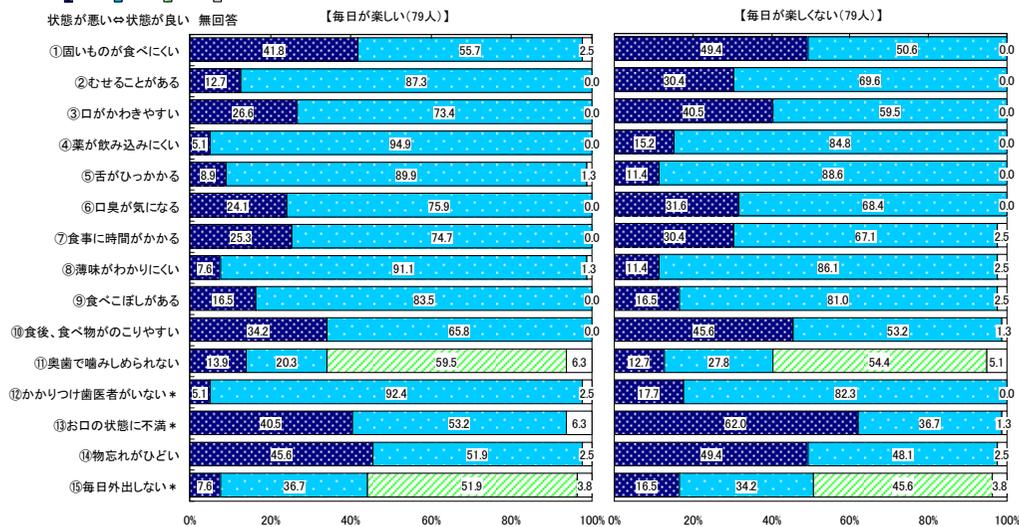
●お口の状態に満足している人のほうが、上下ともに「総義歯」の割合が高い。

●お口の状態の満足・不満にかかわらず、義歯なし状態で臼歯部の咬合がない割合が3割を超えている。

※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が「同一年齢」で構成されるように再集計しています。

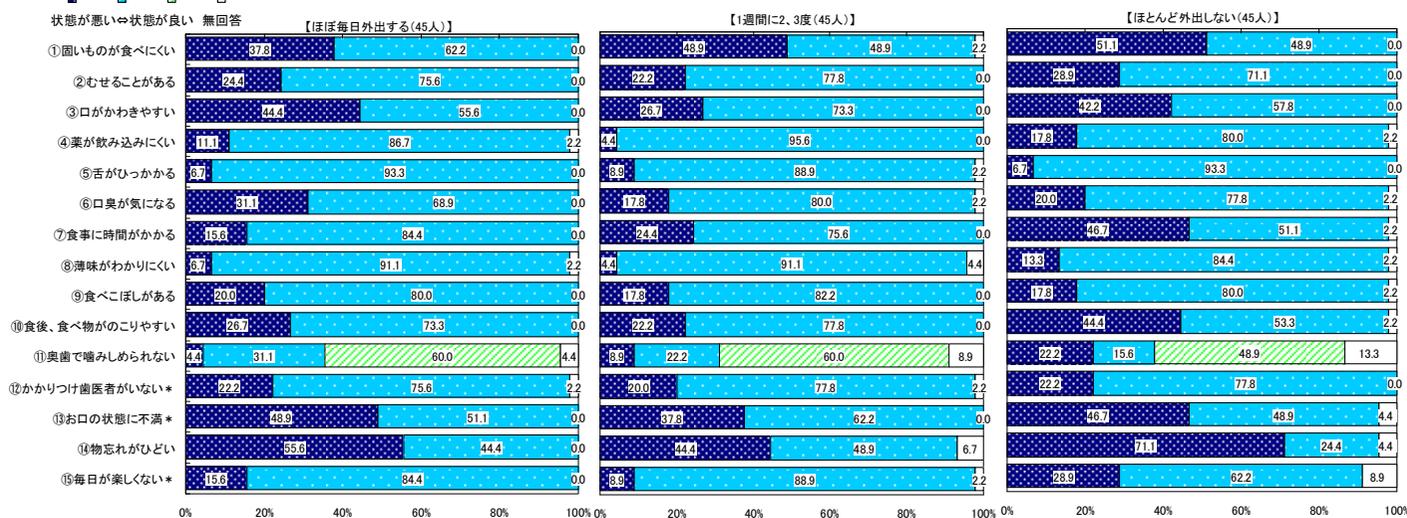
歯科健診・記名アンケートの結果

● 「毎日が楽しいと感じる（楽しい／楽しくない）」回答別の歯科健診票問診項目の回答分布



●毎日が楽しくないと感じている人のほうが、「食べこぼしがある」「奥歯で噛みしめられない」を除き、すべての項目で「状態が悪い」の割合が高い。

● 「外出頻度（ほぼ毎日／週に2、3度／ほとんどしない）」別の歯科健診票問診項目の回答分布

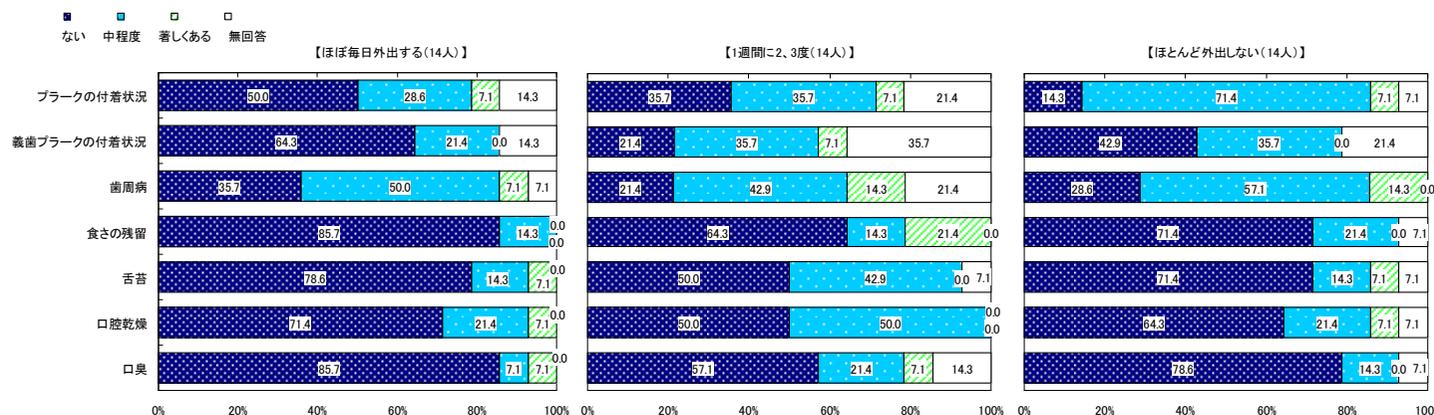


●ほとんど外出しない人で「物忘れ」が7割を超えている。

※年齢の偏りをなくした上で回答の傾向を把握できるよう、各回答者間が「同一年齢」で構成されるように再集計しています。

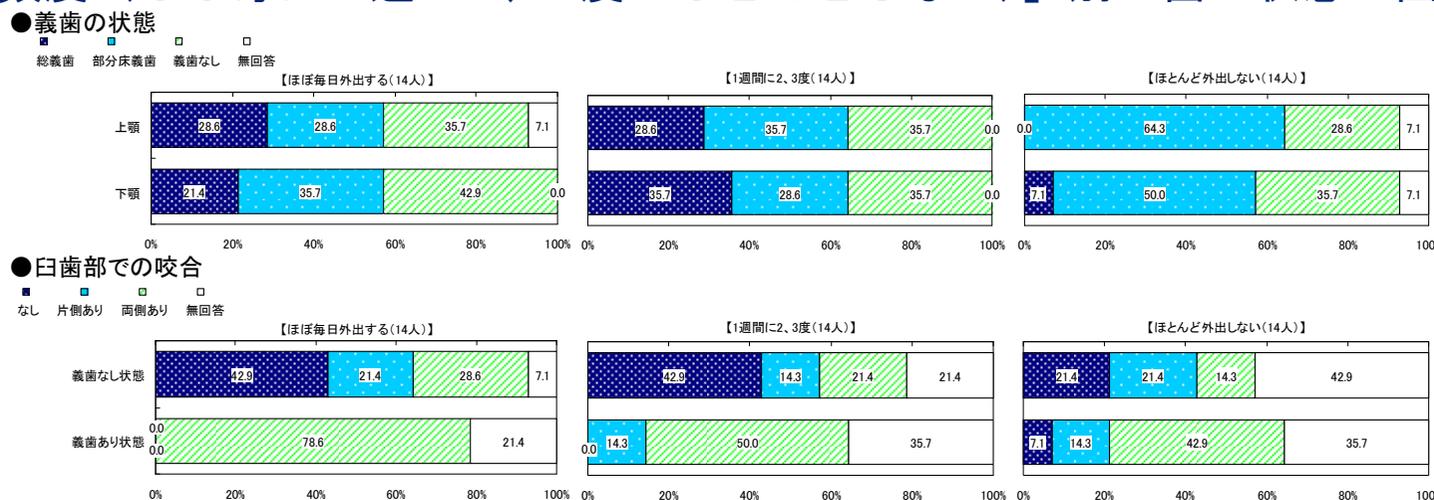
歯科健診・記名アンケートの結果

●「外出頻度（ほぼ毎日／週に2、3度／ほとんどしない）」別の口腔衛生状態の回答分布



●外出していない人のほうが「プラークの付着」の割合が高い傾向にある。

●「外出頻度（ほぼ毎日／週に2、3度／ほとんどしない）」別の歯の状態の回答分布

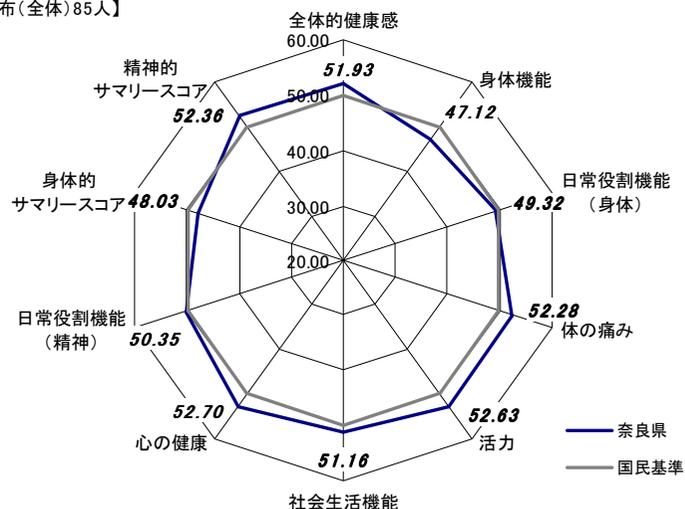


●ほとんど外出しない人のほうが「部分床義歯」の割合が高い傾向にある。

SF-8 によるアンケート調査の結果

● SF-8 の設問項目の回答分布（健康関連QOL得点の状況）

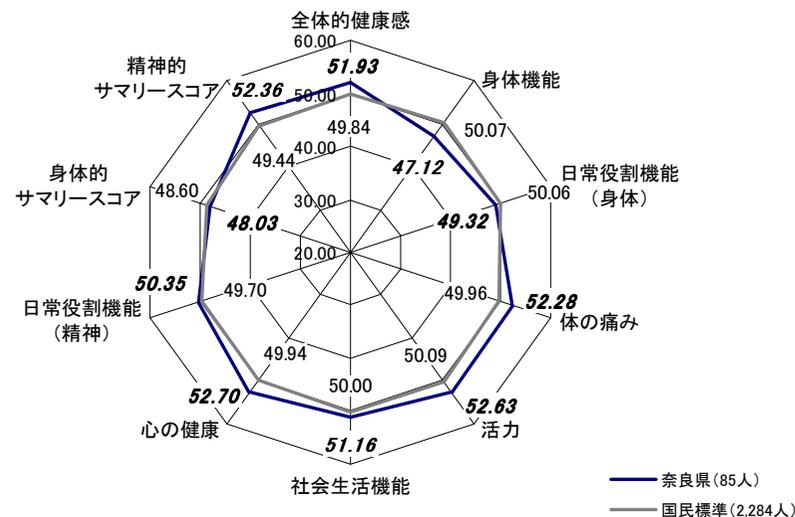
【SF-8の回答分布(全体)85人】



●全体的に50点を超えているが、「身体機能」「日常役割機能（身体）」で若干低くなっており、身体に関する項目から算定している「身体的サマリースコア」も48.03と低くなっている。

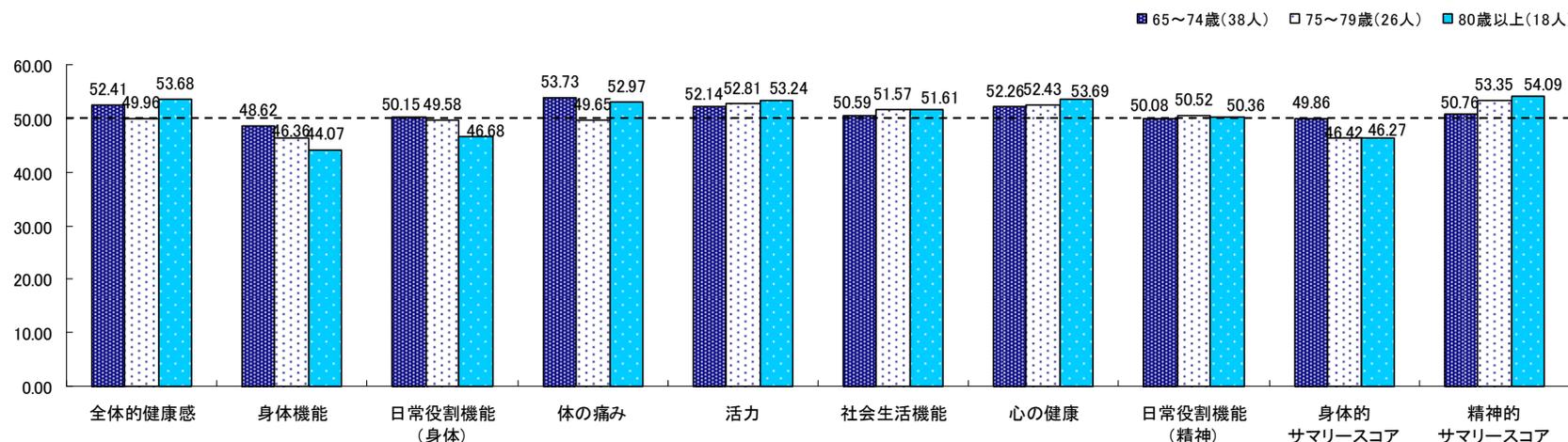
● SF-8 の設問項目の回答分布（健康関連QOL得点の状況 国民標準との対比）

●「全体的健康感」「体の痛み」「活力」「心の健康」「精神的サマリースコア」において、奈良県の得点が国民標準を比較的大きく上回っている。一方、「身体機能」は奈良県が比較的大きく下回っている。



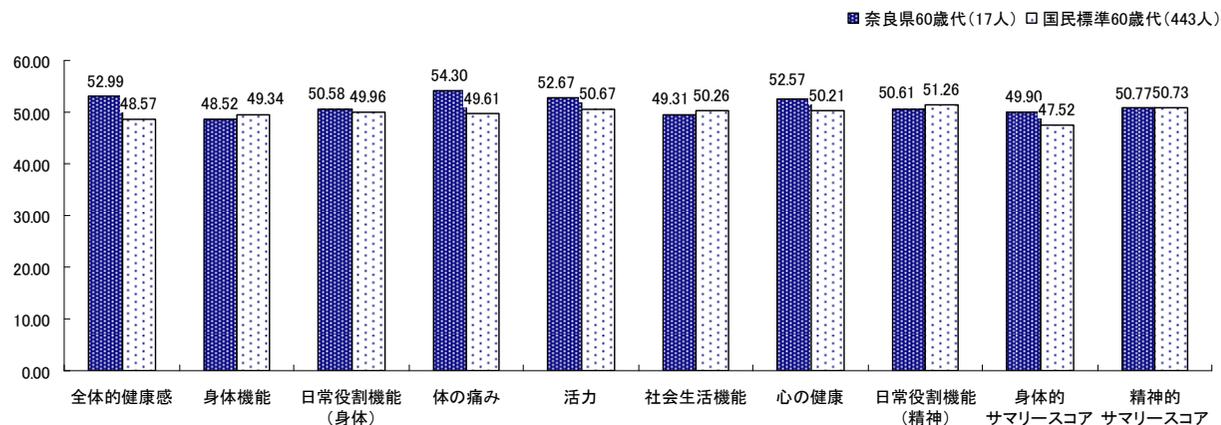
SF-8 によるアンケート調査の結果

●年齢別の「からだ」と「こころ」の健康状態（SF-8 の回答分布）



●「身体機能」で75～79歳が、「身体機能」「日常役割機能（身体）」で80歳以上の得点が比較的低い。

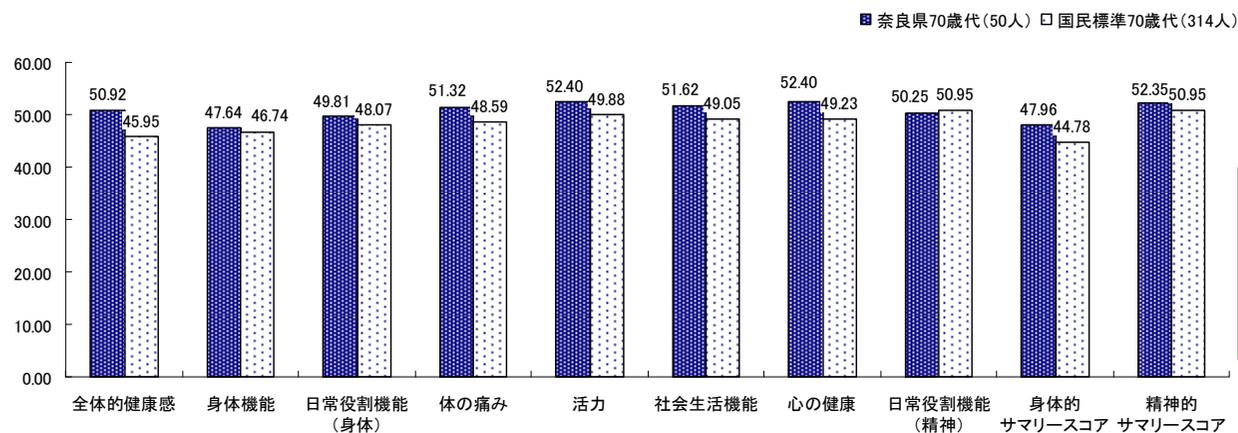
●60歳代の「からだ」と「こころ」の健康状態（SF-8 の回答分布 国民標準との対比）



●全体的に奈良県が国民標準を上回っている。特に「全体的健康感」「体の痛み」で比較的大きく上回っている。

SF-8 によるアンケート調査の結果

●70 歳代の「からだ」と「こころ」の健康状態（SF-8 の回答分布 国民標準との対比）



●全体的に奈良県が国民標準を上回っている。特に「全体的健康感」で比較的大きく上回っている。

SF-8 によるアンケート調査の結果

●口腔機能調査とSF-8との関係性（口腔と心身の状況 ①～⑧）

設問		身体的サマリースコア			精神的サマリースコア		
		平均点数	観測数	P 値 ($p < 0.05$)	平均点数	観測数	P 値 ($p < 0.05$)
①固いものが食べにくい	状態が悪い	47.20	29	P=0.46	53.77	29	P=0.13
	状態が良い	48.47	39		51.70	39	
②むせることがある	状態が悪い	48.89	10	P=0.68	51.37	10	P=0.59
	状態が良い	47.73	57		52.73	57	
③口がかわきやすい	状態が悪い	47.09	33	P=0.33	52.50	33	P=0.95
	状態が良い	48.76	34		52.60	34	
④薬が飲み込みにくい	状態が悪い	49.16	9	P=0.47	53.37	9	P=0.63
	状態が良い	47.74	59		52.46	59	
⑤舌がひっかかる	状態が悪い	48.97	5	P=0.73	51.54	5	P=0.52
	状態が良い	47.92	62		52.69	62	
⑥口臭が気になる	状態が悪い	45.21	14	P=0.13	50.03	14	P=0.07
	状態が良い	48.48	52		53.31	52	
⑦食事に時間がかかる	状態が悪い	46.31	20	P=0.30	52.15	20	P=0.73
	状態が良い	48.60	48		52.76	48	
⑧薄味がわかりにくい	状態が悪い	47.13	3	P=0.76	52.10	3	P=0.78
	状態が良い	47.97	65		52.61	65	

SF-8 によるアンケート調査の結果

●口腔機能調査とSF-8との関係性（口腔と心身の状況 ⑨～⑯）

設問		身体的サマリースコア			精神的サマリースコア		
		平均点数	観測数	P 値 ($p < 0.05$)	平均点数	観測数	P 値 ($p < 0.05$)
⑨食べこぼしがある	状態が悪い	52.76	6	P=0.01	52.18	6	P=0.75
	状態が良い	47.46	62		52.62	62	
⑩食後、食べ物がのこりやすい	状態が悪い	46.68	16	P=0.52	51.85	16	P=0.53
	状態が良い	48.22	51		52.78	51	
⑪奥歯で噛みしめられない	状態が悪い	43.22	8	P=0.20	53.85	8	P=0.58
	状態が良い	48.35	56		52.69	56	
⑫かかりつけ歯医者がない*	状態が悪い	51.05	17	P=0.00	55.43	17	P=0.00
	状態が良い	47.06	50		51.71	50	
⑬お口の状態に不満*	状態が悪い	46.11	34	P=0.03	52.33	34	P=0.73
	状態が良い	49.77	32		52.83	32	
⑭物忘れがひどい	状態が悪い	45.98	32	P=0.03	52.37	32	P=0.88
	状態が良い	49.84	35		52.60	35	
⑮毎日が楽しくない*	状態が悪い	42.61	6	P=0.14	50.12	6	P=0.38
	状態が良い	48.42	60		52.79	60	
⑯毎日外出しない*	状態が悪い	41.89	8	P=0.16	50.69	8	P=0.54
	状態が良い	48.63	59		52.90	59	

●身体的サマリースコアでは、「食べこぼしがある」「かかりつけ歯科医がない」「お口の状態に不満」「物忘れがひどい」、精神的サマリースコアでは「かかりつけ歯科医がない」でそれぞれ有意差がみられる。

歯科問診票及び口腔状態の設問、SF-8 の設問一覧

問診票設問	口腔状態	SF-8 の設問
①固いものが食べにくい	プラークの付着状況	(1) 全体的健康感
②むせることがある	義歯プラークの付着状況	(2) 身体機能
③口がかわきやすい	歯周病	(3) 日常役割機能 (身体)
④薬が飲み込みにくい	食さの残留	(4) 体の痛み
⑤舌がひっかかる	舌苔	(5) 活力
⑥口臭が気になる	口腔乾燥	(6) 社会生活機能
⑦食事に時間がかかる	口臭	(7) 日常役割機能 (精神)
⑧薄味がわかりにくい	上顎の義歯状態	(8) 心の健康
⑨食べこぼしがある	下顎の義歯状態	
⑩食後、食べ物がのこりやすい	義歯なしでの臼歯部の咬合	
⑪奥歯で噛みしめられない	義歯ありでの臼歯部の咬合	
⑫かかりつけ歯科医がない		
⑬お口の状態に不満		
⑭物忘れがひどい		
⑮毎日が楽しくない		
⑯毎日外出しない		